

ビッグデータの

農

21世紀の最も重要な資源とされるデジタル・データ。企業や行政によって日々蓄積される膨大なデータは、生活の利便性の向上や治安の維持などに役立てられるようになりました。一方、情報の独占が生む弊害、負の側面にも光があてられるようになってきています。豊かなデジタル・エコノミーの時代の姿を考えます。

18:00~19:00

データ独占をどう考えるか

—経済成長と規制のはざ間で—

膨大なデータが、限られた数のプラット・フォーマーの手に握られるデジタル・エコノミーの時代。情報の独占の問題はどのように考えていけばよいのでしょうか。米・欧・日の取り組みを比較しながら、あるべき姿を考えます。

岡田羊祐 氏 一橋大学経済学研究科教授



19:00~20:00

楽天の成長とイノベーション

—データからのお客様とマーケット理解—

データを収集・蓄積・分析することで、商品やサービスのカスタマイズ化や、新しいマーケットの開拓が可能になりました。データの力を理解する新世代のリーダーが、データの価値と新しい可能性を明らかにします。

北川拓也 氏 楽天株式会社執行役員
グローバルデータ統括部ディレクター



6/7 木 18:00~20:00
(開場17:15)

参加費▶ 無料
申込▶ WEBから▶ 『一橋大学開放講座』で検索
FAXから▶ 03-3262-2150
(講座名、氏名、ふりがな、電話番号を明記ください)

お問合せ▶ 一般社団法人如水会
03-3262-0126

如水会館 2階 オリオンルーム

